

## 【水の里の旅コンテスト 2020 応募企画】

### 【一般部門】

特定非営利活動法人湯来観光地域づくり公社

『広島市の水瓶、湯来町で感じる水の循環 シャワークライミングと食で水の大切さを知る 1泊2日のツアー』

(観光地域：広島県 広島市)

【日程】	1泊2日		
【実施時期】	5月～10月		
【催行人員】	10名まで(最少催行人員：2名)	【お勧めする旅行者層】	小学生～中学生の子連れの家族
【旅行代金】	25,500円 (大人1名)	【内訳】	
		チョウザメ料理 1,500円 シャワークライミング 9,000円 宿泊費 10,000円 夜と朝の食材費 2,000円	オオサンショウウオこんにやく作り 1,500円 猪ハンバーグ 1,500円
【企画趣旨(伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント)】			
広島市中心部から車で北西に約50分、市内唯一の温泉街がある湯来町。 政令指定都市の中心部から一時間圏内で、美しい清流と自然が残る街である。 水内川という太田川の支流で、シャワークライミングという、川の中にウェットスーツを着て入り、川を上流へと登り、水源を目指しながら、滝を登ったり滝壺にダイブしたりして楽しむ、スリリングなアウトドアアクティビティを軸に、ツアーを展開していく(ゴール地点は水源かん養保護林である)。 シャワークライミングの道中では、湧き水を飲みながら山の整備が必要な状況を伝えたり、山・川・海の関係性、そして土砂災害の背景や広島で牡蠣が美味しい理由など、生活と水が密接に結びついていることを伝え、山や川を守る重要性を楽しみながら知ってもらう。 また、水内川の鮎は、過去4回、全国のどの川の鮎が一番美味しいかを定める大会で準グランプリを獲得している。美味しい鮎が獲れる背景も学びながら、宿泊先の古民家の囲炉裏で、鮎を自ら調理して食べることで、川の命の大切さを学ぶことができる。 さらに、この街の特産品である、湯来町の水脈で育ったこんにやく芋を使い、水内川に生息する国の天然記念物・オオサンショウウオの形をした、オオサンショウウオこんにやくを作る体験もできる(オオサンショウウオについてのレクチャーも含まれる)。			
【安全確保のための配慮】		【旅行者の満足感を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】	
水難救助の国際資格である、SRT-1(急流救助講習)スタッフ3名が保有しており、うち1名はガイド歴7年以上のベテランである。 また、地元自治会や漁協、消防、そして病院とも連携しており、万が一の場合に対応できる体制をとっている。		シャワークライミングというスリリングな体験を家族で行うことで、一体感を生むことができ、家族の仲が深まる。 また楽しいだけでなく、山や川について、そして命の大切さについての学びがあることで、親としての満足度も高まる。 また、常にガイドが同行することで、体験の質を高めている。 現地での移動距離も10分圏内に収められている。	
【インバウンド対応のための工夫】			
・英語を喋るガイドが3名いるので、日本の古民家で使い方がわからないものも、すぐにサポートができる。 ・外国語対応したウェブサイトを整備している。			
【企画協力(後援)機関・団体名等】	【主な役割】	【企画協力(後援)機関・団体名等】	【主な役割】
①湯来町観光協会	広報、企画協力	⑤水内川漁業協同組合	川の整備
②くもを愛し守る会	宿泊先の民泊施設の運営 参加者と住民のふれあい	⑥(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会	企画協力
③国民宿舎湯来ロッジ	温泉入浴	⑦湯来ぷりぷりレディース	こんにやく作りの講師
④湯来特産品市場館	野菜などの提供	⑧	
【特記事項】	この企画で収益を生むことで、少子高齢化が進む地域(最寄りの小学校は全校生徒7名)に、子育て世代が住めるようになり、地域の持続可能性を担保していきたい。		
【催行実績】	有		

【 行 程 表 】	
1日目	11:30 広島蝶鮫集合 水内川の清流で育ったチョウザメを食べる。自分たちで食べるチョウザメを選び、捌いてもらう。 13:00 シャワークライミングスタート 16:00 国民宿舎湯来ロッジで入浴 17:30 奥湯来田舎体験ハウスにチェックイン。家主から古民家の使い方や地域の歴史についてのレクチャー。その後、鮎を調理し、囲炉裏で焼いたり、かまどでご飯を炊いたり。山からの湧き水を使った五右衛門風呂もある。 20:00 星空を見たり、季節によってはホタルを見たり。
2日目	7:00 起床、かまどでご飯炊き。 8:30 水内川沿いをハイキング。集落の人口よりかかしが多いエリアも。 10:00 湯来交流体験センターで、地元の女性グループが講師の、オオサンショウウオこんにやく作り体験 12:00 国民宿舎湯来ロッジで、地元でとれた猪ハンバーグのランチ 13:00 解散

【 主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来、土産品など） 】		
【 ポイント1 】	【 ポイント2 】	【 ポイント3 】
 <p>【コメント】            昼食場所の広島蝶鮫。全国的にも珍しい、チョウザメの養殖は、水内川の清流を活用して行われている。20年以上のベテランで、全国の養殖場に稚魚や卵の販売もしている。            昼食では、池で泳いでいるチョウザメの中から食べたいチョウザメを選び、捌いてもらえ、体験型のランチが楽しめる。</p>	 <p>【コメント】            清流・水内川。シャワークライミングはこの上流域で実施している。飲めるほど美しい水。浄水ポトルで浄水して飲んでもらうこともしている。            鮎のほか、アマゴやウナギなども釣ることができる。            昔に比べると水量が半分くらいになっていて、山との関係性でそのことを伝え、驚きの反応が返ってくる人が多い。</p>	 <p>【コメント】            シャワークライミングの実施の様子。背後に見えるのは出会いの滝と呼ばれる滝。ここを登ったり、この滝壺にダイブしたりする。紅葉もキレイなエリアである。この滝は、川の中からしか、2つ同時に見られず、体験の希少価値を高めている。            また、こうした場所を仲間で協力して登っていくことが、一体感が生まれている。</p>
【 ポイント4 】	【 ポイント5 】	【 ポイント6 】
 <p>【コメント】            地元の皆さんが集落に活気を取り戻そうと2018年から始められた民泊施設、「奥湯来田舎体験ハウス」。4軒から成り、施設毎に特色がある。一番人気の「しまた」では、囲炉裏、鉄板焼、かまど炊き、五右衛門風呂、露天風呂などがあり、日本の昔からの暮らし体験をすることができる。            水内川の鮎は、ここの囲炉裏で調理する。</p>	 <p>【コメント】            リアルかかしの里山。人口90名の集落に対し、リアルすぎるかかしが170人住んでいる。テレビの全国放送にも度々取り上げられ、その度に有名人が増えていっている。夜に肝試しすると、かなりの威力を発揮する。            作り初めのキッカケは、亡くなったお父さんの遺品を使って親族や住民を驚かそうという悪巧みから。気づいたら、170人に・・・。</p>	 <p>【コメント】            広島奥座敷、湯来温泉。かつては13軒もの宿が軒を並べたが、今では2軒だけに。温泉街の再生が最重要課題になっている。各旅館の露天風呂からは清流を眺めることができ、時期にはホタル見風呂も。このようなツアーを通じて温泉街にもお客様を呼び寄せ、温泉街再生の1つの契機にしていきたい。            オオサンショウウオこんにやくづくりもこちらで。</p>